

学校だより



せいび

令和5年4月28日
杉並区立済美小学校
校長 難波 誠二

…済美小学校の大事なひとりになろう…

〒166-0013 杉並区堀ノ内1-17-24 Tel 03-3313-2364 FAX 03-3313-8634

<http://www.suginami-school.ed.jp/seibishou/>

自然豊かな済美小から、緑をつなぐ

副校長 吉原 勇

新緑の季節になりました。桜の木も色を緑に変え、葉が生い茂っています。桜の木は、どの学校にもありますが、済美小ならでの自然は、「たくさんのドングリの木」です。

「ドングリ」とは、東京都公園協会ホームページの説明では、「かたい皮をもった種子（堅果）で、おわんのような帽子（殻斗）をかぶったブナ科の実の愛称」となっています。かんたんに言うと「ブナという木の仲間のたねで、外側に硬い皮があって帽子をかぶっているもの」がドングリです。

ドングリの木にはいろいろな種類がありますが、済美小にはなんと「コナラ」「クヌギ」「シラカシ」「アラカシ」「スダシイ」の5種類のドングリの大木が計10本以上も立っています。秋には、第二校舎西側の「済美の森」だけでなく、第一校舎の東側や体育館外南西の校庭にもドングリがたくさん落ちてきます。済美小は冬になっても、あちらこちらでドングリ拾いができるドングリ天国の学校です。

春になり、「済美の森」の地面に、他の場所では見られない「木の芽」が出てきました。ドングリの実生（みしょう）です。ドングリは「たね」ですから、条件を整えば芽が出てくるのは当然なのですが、とても多くの実生が見られ、ビックリしました。

このところ、各地でコナラなどの大木が急に次々と枯れてしまう「ナラ枯れ」が報告されています。近隣の和田堀公園でもナラ枯れが見られているとのこと。原因は、特定の虫が寄生することによるカビの影響とのことで、森から木が少なくなっている・・・と危ぶむ声も聞かれます。そこで・・・。

「もしかすると、済美小のドングリの実生を苗木にまで育て、それを木が少なくなった森に植え替えることで緑を増やすことができるかもしれない！」

と、環境委員会の5・6年生が、ドングリの実生をプランターや鉢に植え替え、育てる活動を始めました。芽が出たばかりの実生を森に植え替えるくらいの苗に育てるのには、何年もかかります。すぐには大きくなりません。でもいつか、済美小の児童が育てた苗が、和田堀公園の森に植え替えられ、森を支える大木になるかもしれません。済美小から「緑をつなぐ活動」がスタートしました。ぜひ、応援をお願いします。



どングリの実生（みしょう）

5月の行事予定

生活目標 外で元気に遊ぼう

1	月	委員会 聴力検査（5年）	16	火	児童の学力向上を図るための調査（6年） 尿検査一次追加
2	火	離任式 聴力検査（1年） 5時間授業	17	水	
3	水	憲法記念日	18	木	口腔保健指導（6年、か）
4	木	みどりの日	19	金	
5	金	こどもの日	20	土	
6	土		21	日	
7	日	足育月間終	22	月	運動会係活動（5、6年）
8	月	クラブ 内科検診（2、4、6年、か）	23	火	5時間授業
9	火	特定の課題に対する調査（6年） 聴力検査（3年）	24	水	心電図（1年他）
10	水	航空写真撮影	25	木	
11	木	航空写真撮影予備日 避難訓練 聴力検査（2年、か）	26	金	前日準備（5、6年） 午前授業（1～4年） 尿検査二次
12	金	児童意識実態調査（2～6年） 眼科検診（1、3、5年）	27	土	運動会
13	土		28	日	
14	日		29	月	振替休業日
15	月	運動会係活動（5、6年） 尿検査一次 教育実習始	30	火	午前授業（1年）
			31	水	尿検査二次追加